
フィデアグループ 会社説明会

平成22年2月18日



フィデアホールディングス株式会社

フィデアグループ 第一次中期経営計画

当説明会資料では、計数は原則として単位未満切り捨てにて表示しております。

< FIDEA 5 >

私たちは、地域に密着した「広域金融グループ」として、お客さまの高い満足と地域の発展のために、上質な「金融情報サービス」を提供し続ける。

- 1 .常にインキュベーション、イノベーションを創発する「開かれたネットワーク」を目指す。
- 2 .次代へのナビゲーション、ソリューションを提供する「お客さまのベストパートナー」となる。
- 3 .過去の慣例にとらわれない発想とチャレンジにより「地域のフロントランナー」であり続ける。
- 4 .人材を活かし、組織をつなぎ、価値創造へとリードする「金融情報サービスのプロ集団」となる。
- 5 .顧客と社会の視点に立って、透明・公正・公開に徹する「信頼の金融グループ」であり続ける。

基本方針

「仕台づくり&挑戦」

- オープンプラットフォームの機能最大化と経営資源再配分を通して、統合効果早期抽出に取り組む
- 株主、顧客、地域、従業員にとって夢のある金融情報サービスグループを目指す

基本戦略

- 企画・管理機能のフィデアHD集約による業務クオリティ向上と営業推進部門への人材再配置
- グループ一体となったリテール力、有価証券運用力の強化
- 基幹勘定系システム統合を軸にした事務・システムの統合・集約によるコスト削減
- 人材相互交流・人材育成と地域貢献力強化
- リスク・リターン・マネジメント実施
- グループ一体となったフィデアブランドの確立

経営課題

- 自己資本の充実
- 収益力 (収益の質) の向上
- 経営効率の向上・コスト削減
- 有価証券運用力の強化
- 地元中小企業向け貸出増強
- リスク管理力強化
- 内部統制・コンプライアンス

営業戦略

- リテール (個人、中小企業向け) 営業力強化
- 資産運用サービスの充実
- バンカシュアランス推進
- 人材育成
- チャネルの機能・配置見直し
- 商品戦略、マーケティング力強化
- グループ総合力抽出

オープンプラットフォーム型経営統合

強固な銀行間連携の創造

ミドル・バック機能の集約・専門化

事業規模、営業エリアの拡大

両行のブランド・独自性の維持

リーマンショック

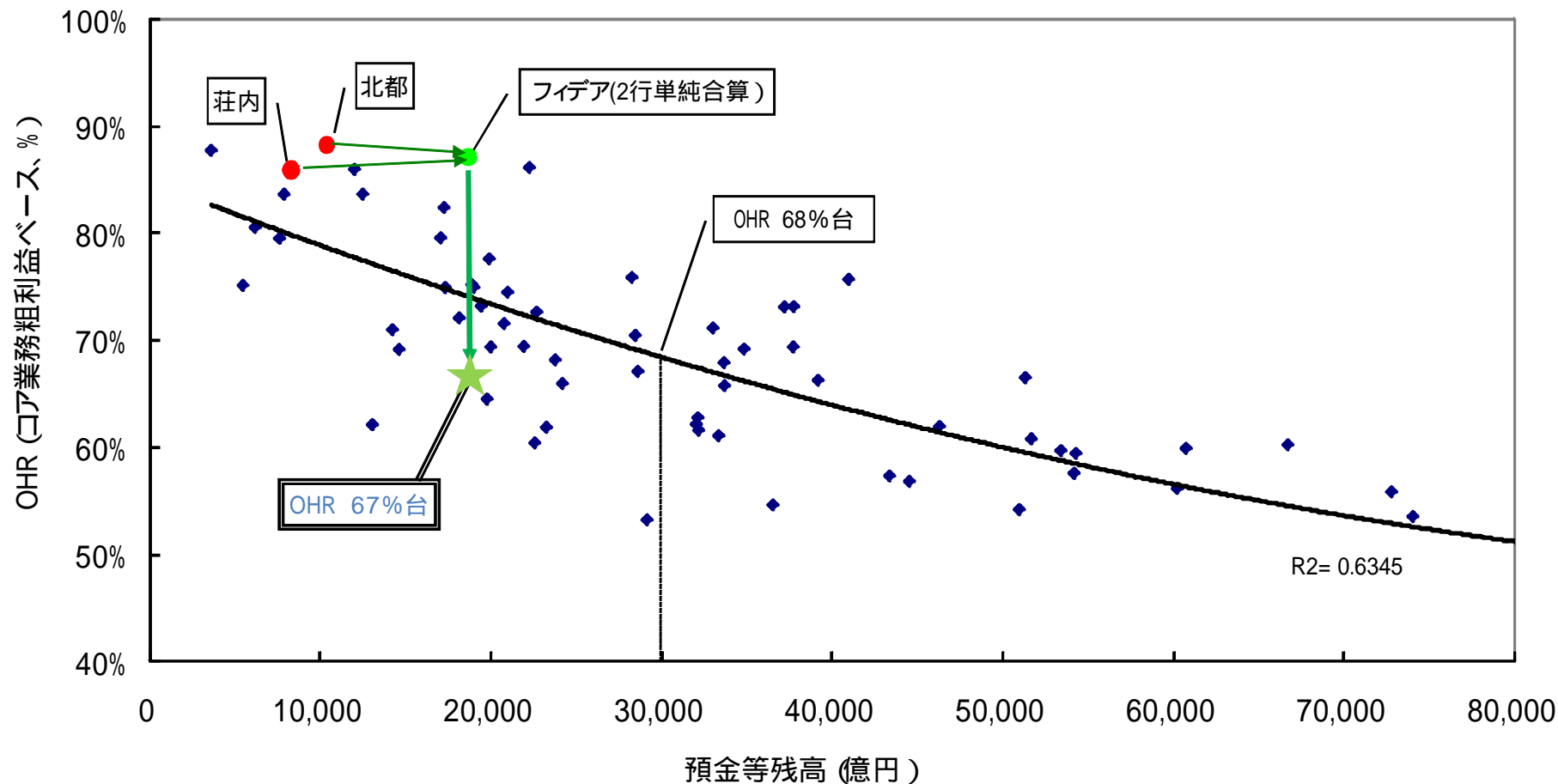
競争激化

規制対応

地域経済の低迷

預金等残高とOHRの相関関係 (地銀64行、平成21年3月期実績)

(各行公表資料を基にフィデアHDで作成)

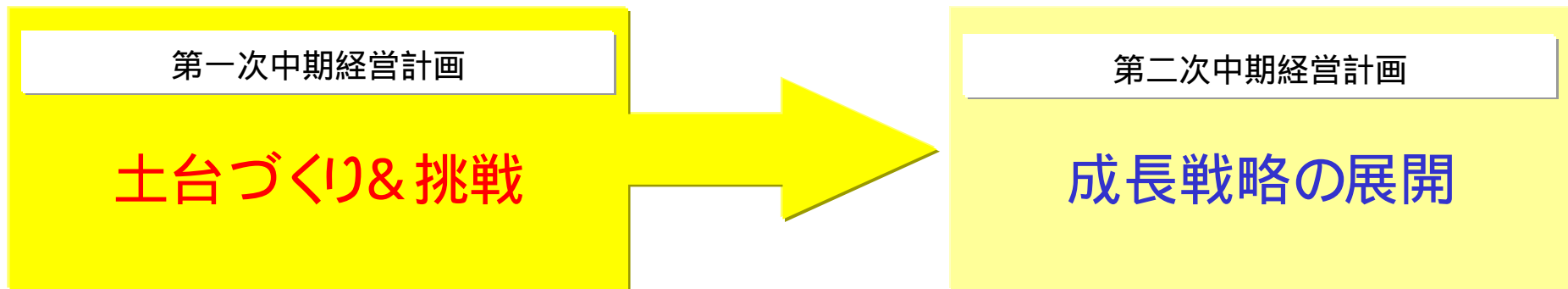


統合効果の早期抽出に取り組む

= コア業務粗利益OHR 67%台を目指す

	平成21年度 (業績予想)			平成24年度 (目標)
	フィデア* (連結)	荘内 (連結)	北都 (連結)	
コア業務粗利益	382億円	174億円	209億円	415億円
経費	304億円	142億円	163億円	280億円
コア業務粗利益OHR	79%台	81%台	78%台	67%台

*平成21年4月1日に統合したと仮定した場合

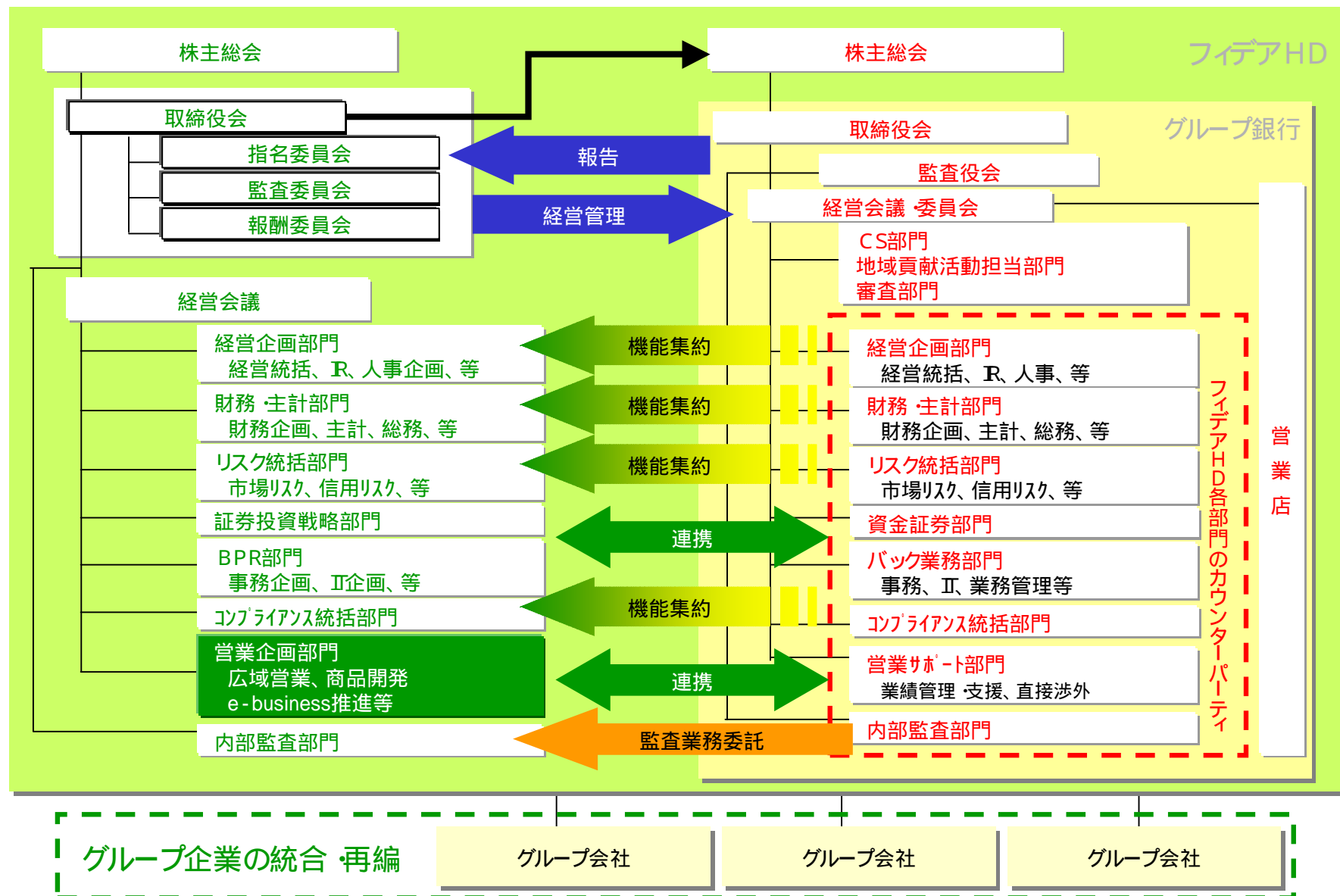


企画・管理機能の集約・専門化、営業推進部門への人材再配置、基幹勘定系システム統合を軸にした事務・システムの統合・集約によるコスト削減等を通じて、統合効果早期抽出と次なる成長戦略に向けた土台づくりに取り組む。

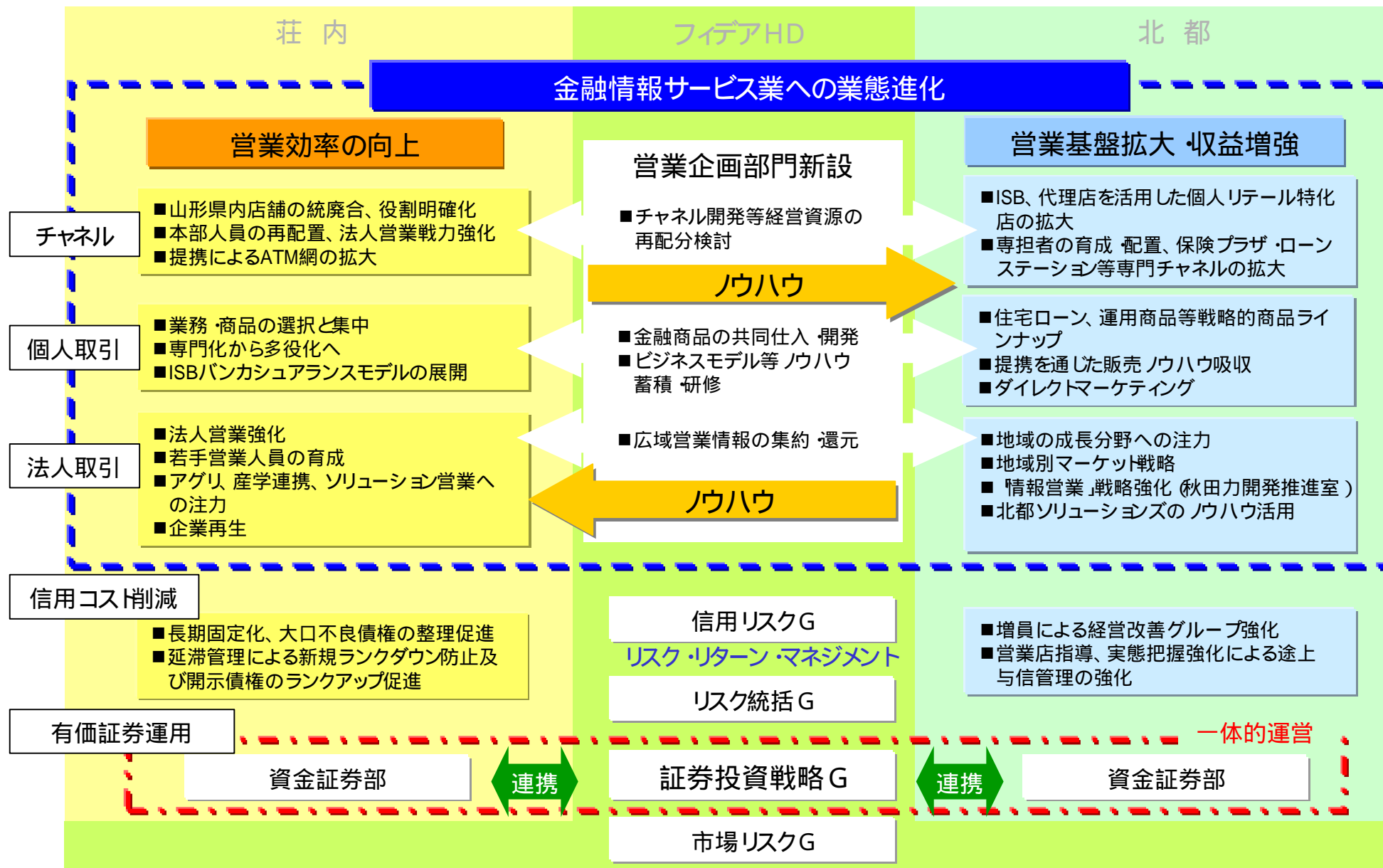
		平成21年度 (業績予想)			平成24年度 (計画)		
		フィデア* (連結)	荘内 (単体)	北都 (単体)	フィデア (連結)	荘内 (単体)	北都 (単体)
金利・ 株価 見通し (期末)	O/N				0.50%		
	10年国債				1.75%		
	日経平均				14,000円		
	TOPIX				1,330p		
業容	預金等残高	1兆9,300億円	8,800億円	1兆 500億円	2兆2,000億円	1兆円	1兆2,000億円
	貸出金残高	1兆4,000億円	7,200億円	6,800億円	1兆5,400億円	8,100億円	7,300億円
利益	コア業務純益	78億円	25億円	39億円	135億円	64億円	60億円
	当期純利益	24億円	11億円	11億円	55億円	27億円	22億円
経営 指標	コア業務純益ROA	0.3%台	0.2%台	0.3%台	0.6%台	0.6%台	0.5%台
	コア業務粗利益OHR	79%台	84%台	79%台	67%台	66%台	69%台

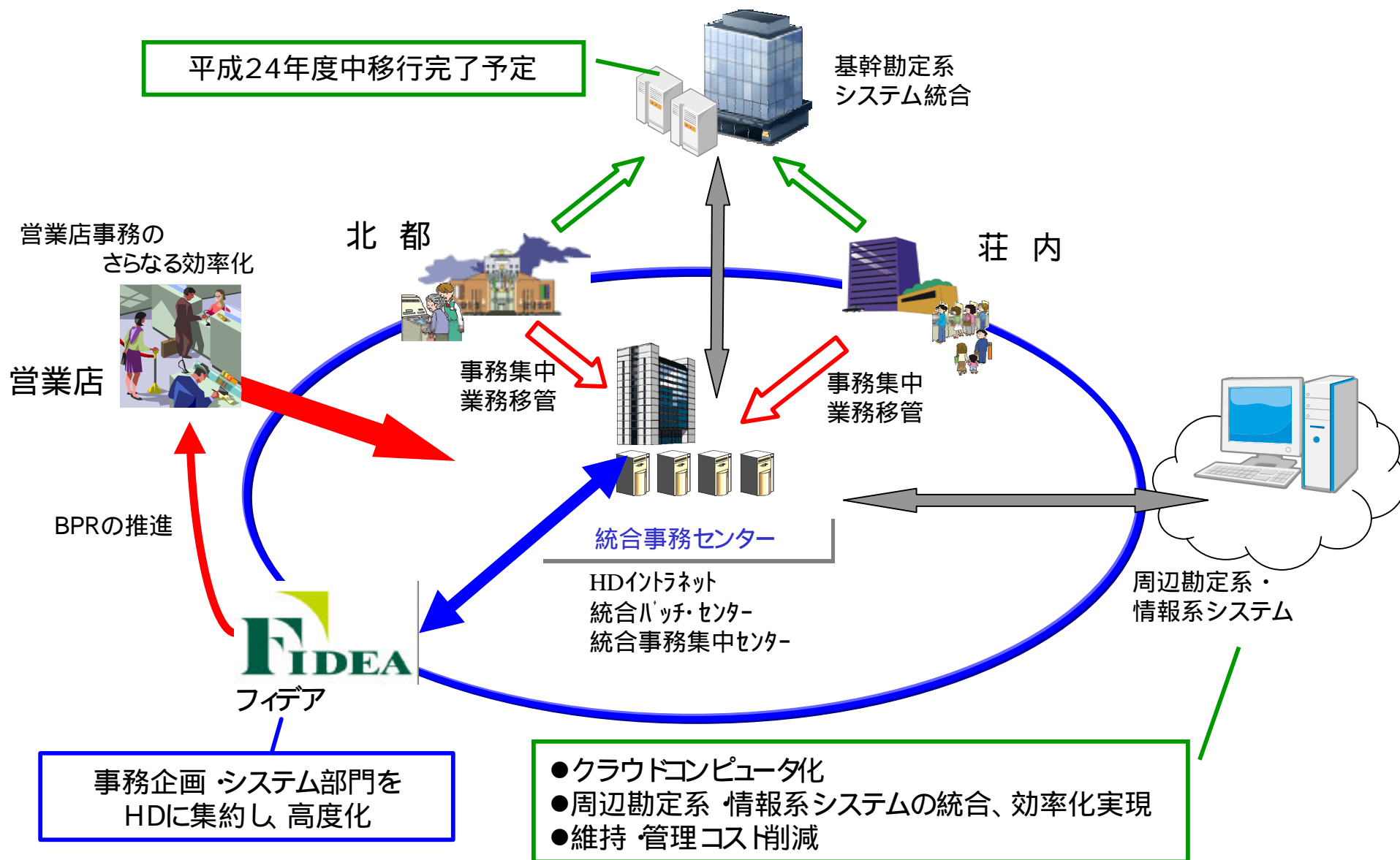
*両行の通期連結の計画を合算したもの

各行の企画・管理部門をHDに集約、効率的な経営管理体制を構築



ノウハウを共有しながら、グループ一体となったリテール力、有価証券運用力の強化を図る



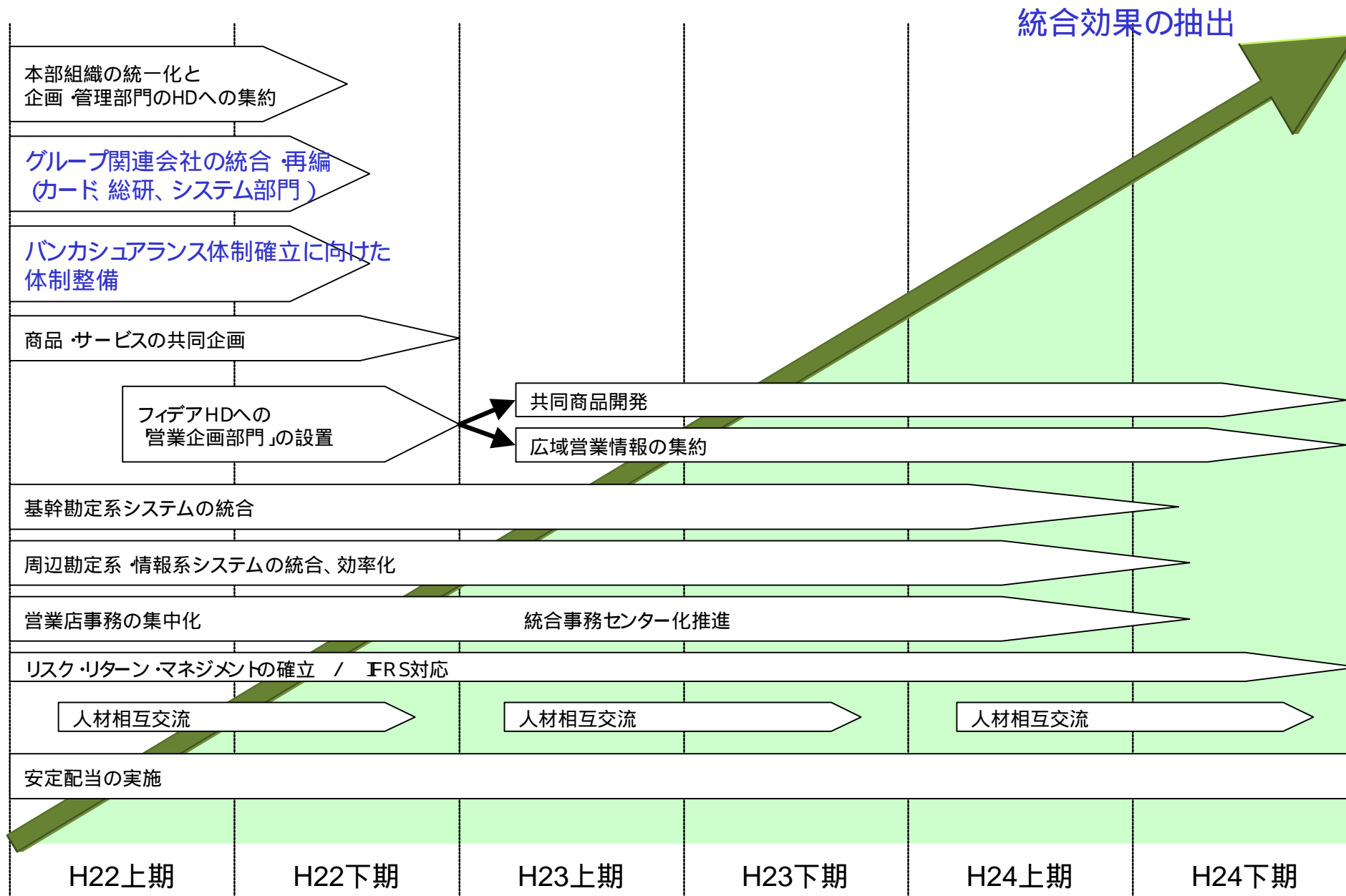


業務効率化を通じて、営業推進部門への人員再配置を行う

グループ全体で400名削減を目指す

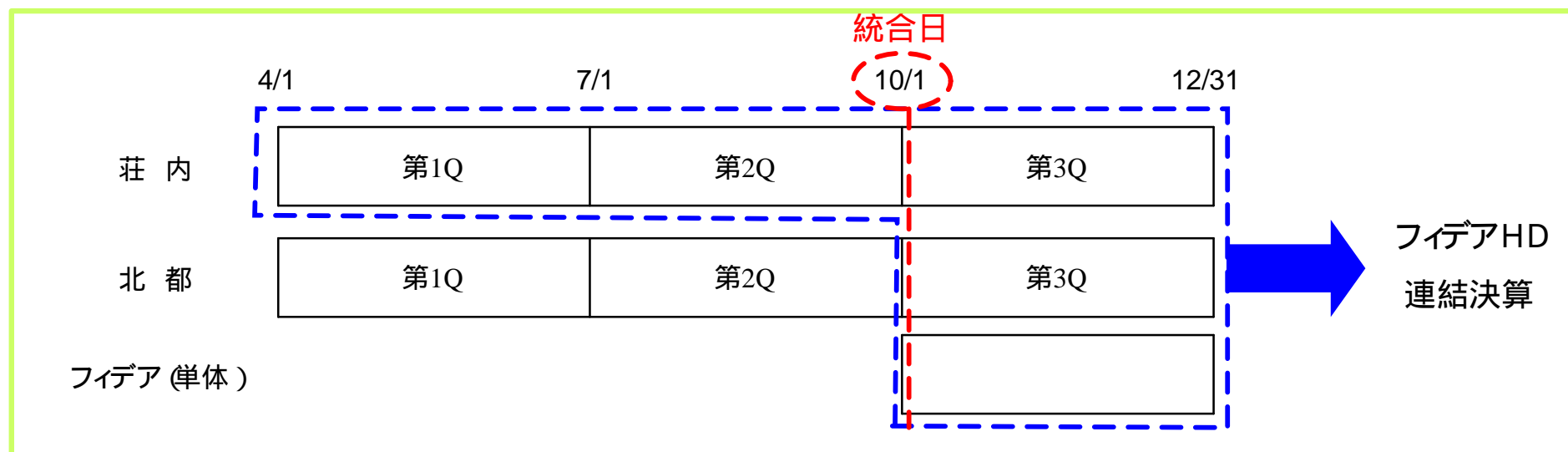


営業推進部門は、営業店の渉外人員と両行の専門スタッフ (資産運用AD、ライフプランアドバイザー (LPA)、クレジットマネージャー、年金メイト、ローン専門店人員、コールセンター人員 (いずれも荘内)、北都ソリューションズ、すまいるローンステーション、エリアサポートチーム (AST)、年金パートナー、LPA (いずれも北都)) の合計



平成22年3月期 第3四半期 決算概要

当説明会資料では、計数は原則として単位未満切り捨てにて表示しております。



フィデアホールディングス 連結業績

主要項目	フィデア 連結 第3四半期 実績		フィデア 連結 通期業績 予想
	1	25,063	
経常収益	1	25,063	37,000
経常利益	2	2,147	2,700
四半期純利益	3	1,463	1,800

(百万円)

荘内・北都 単体業績

(百万円)

主要項目	2行合算		荘内		北都		
		H20/12比		H20/12比		H20/12比	
経常収益	1	35,588	55	16,827	1,088	18,761	+ 1,032
業務粗利益	2	28,105	+ 7,632	12,750	+ 1,284	15,355	+ 6,348
資金利益	3	22,618	231	10,838	16	11,780	215
役務取引等利益	4	3,168	2	1,250	114	1,918	+ 111
その他業務利益	5	2,318	+ 7,867	661	+ 1,415	1,656	+ 6,451
経費	6	21,456	900	10,016	412	11,439	487
うち人件費	7	9,904	615	4,880	209	5,024	406
うち物件費	8	10,459	125	4,676	136	5,783	+ 10
コア業務純益	9	5,816	+ 1,821	2,322	+ 89	3,494	+ 1,731
一般貸倒引当金繰入額	10	94	+ 339	6	+ 177	88	+ 162
業務純益	11	6,743	+ 8,193	2,740	+ 1,520	4,003	+ 6,673
うち国債等債券損益 (5勘定戻)	12	832	+ 6,711	411	+ 1,607	421	+ 5,103
臨時損益	13	3,874	+ 9,285	1,465	+ 893	2,408	+ 8,391
うち不良債権処理額	14	3,626	5,758	1,201	572	2,425	5,185
うち株式等関係損益 (3勘定戻)	15	331	+ 2,859	282	+ 290	48	+ 2,569
経常利益	16	2,869	+ 17,479	1,274	+ 2,414	1,594	+ 15,065
特別損益	17	129	+ 116	46	39	175	+ 156
税引前四半期純利益	18	2,998	+ 17,596	1,228	+ 2,374	1,770	+ 15,221
四半期純利益	19	1,711	+ 14,855	639	+ 1,343	1,072	+ 13,511

- 本書には、フィデアホールディングス株式会社及びその子銀行と関連会社（「当社グループ」）に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来の記述が含まれています。これらは、現在入手している情報に基づく、本書作成時点における予測等を基礎として記載されているものです。
- また、これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を使用していますが、これらの記述または前提（仮定）は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。
- こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内含するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意下さい。

〔当資料に関するお問い合わせ先〕



フィデアホールディングス株式会社

Rグループ 大石 (018-837-1726) 佐藤 (023-626-9006)